

令和4年度 議会改革の目標に対する評価

目標	取組目標	評価	評価理由
町民意見の反映	<ul style="list-style-type: none"> 町民との意見交換を活発に行い、町民の多様な意見を的確に把握し、町政に反映するための方法を検討し、実施する。 	△	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍において3年ぶりの議会報告会を実施できた。 町民意見を一般質問や質疑に生かすことができた。 町民意見を議会全体で共有し町政に反映させる検討・実施は不十分であった。
議案審議の充実	<ul style="list-style-type: none"> より良い議案審議方法を検討し、実施する。 議案質疑を活発に行い、町政チェック機能の充実を図る。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 論点整理や内容確認質問の在り方を議論し、内容確認質問通告制の定着により質疑の充実を図った。 定例会終了後、審議改善のための意見交換を行い審議の充実を図った。 災害時や感染症拡大時の審議方法を定めた吉田町議会業務継続計画（議会BCP）を作成した。
ICT活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> 議会運営を効率化するため、ICTの活用を検討し、実行する。 	×	<ul style="list-style-type: none"> 広報特別委員会において、原稿作成・校正などでICTを活用し、議会だより作成の1か月短縮に貢献した。しかし、議会活動においては徐々にICTを取り入れ効率化を行っているが、不十分であった。 行政のDX化に合わせ、議会においてもICT活用実施が喫緊の課題である。

※ 令和4年度末に議員の協議により議会としての評価を決定し、公表する。

評価基準は『設定以上にできた ⇒ ◎、設定どおりにできた ⇒ ○、設定には足りなかった ⇒ △、出来なかった ⇒ ×』